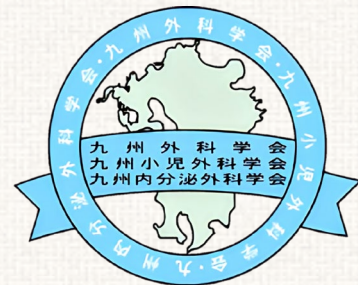


第60回 九州外科学会

「外科学のホットな源泉につかる」

■合同開催：第60回 九州小児外科学会
：第59回 九州内分泌外科学会



ランチオンセミナー 1

抗がん剤脱毛の現状と向き合う —患者体験と最新治療法の探求—

日時 2024年3月8日(金) 12:25～13:15

会場 J:COM ホルトホール大分 第2会場 (3F 大会議室)

座長

大分大学
学長

北野 正剛 先生

演者①

脱毛に直面した乳がん女性に寄り添って

うえお乳腺外科
副院長

久保田 陽子 先生

演者②

最適な抗がん剤脱毛治療を探る

大分大学医学部
先端がん毛髪医療開発講座[アデランス]
准教授

河野 洋平 先生



演者①

うえお乳腺外科
副院長

久保田 陽子 先生

▶ 脱毛に直面した乳がん女性に寄り添って

わが国の乳がんの罹患率は増え続けており、罹患率のピークは40歳代後半と60歳代前半で、仕事、子供、孫の世話、両親の介護など大切な役割を担う世代である。

うえお乳腺外科の2023年の乳癌手術例の年齢分布を見ると、50歳代、60歳代、40歳代の順に多いが、30歳代、20歳代の症例もあり、これらの女性が化学療法を受ける際には脱毛に直面せざるを得ず、乗り越えるための工夫が必要とされている。

乳癌に対する薬物補助療法は国際的なガイドラインに沿って選択されるが、2023年の当院での乳癌手術例370名中111名と30%が術前または術後に化学療法を受けており、常時、脱毛ケアが必要とされている。

そのような背景の中で、以下のような乳腺外科の現場での取り組みを紹介する。

① 化学療法を受ける患者のケアに関する看護研究

当院では開院当初より、頭髪および眉毛・睫毛の脱毛情報を正確に患者に伝え、脱毛の際のケアの指導に取り組んでいるので紹介する。

② 脱毛軽減の試みにおける予備的研究の参加とその効果

脱毛軽減ローションや頭皮冷却装置の開発初期の予備的研究に参加したので紹介する。とくに脱毛軽減ローションの2011年の予備的研究は臨床例で初めての試行で、頻回塗布により脱毛軽減効果や頭皮の痛みの軽減効果があることが示され、その後の研究の発展に繋がった。

略歴等

【略歴】

1998年 3月 大分医科大学（現 大分大学医学部）卒業
1998年 4月 大分医科大学第一外科 研修医
（現 大分大学医学部 消化器小児外科）
1999年 4月 九州医療センター 外科 研修医
2000年 4月 九州がんセンター 消化器外科 レジデント
2001年 4月 大分県立病院 外科
2002年 4月 新行橋病院 外科
2003年 4月 大分大学医学部附属病院 消化器小児外科 医員
2006年 4月 九州がんセンター 乳腺科
2007年 4月 大分県立病院 外科
2008年 4月 うえお乳腺外科 外来医長
2020年 4月 うえお乳腺外科 副院長

【学位】

2008年 9月30日 医学博士（大分大学）

【資格】

日本外科学会 専門医
日本乳癌学会 指導医
日本乳がん検診制度管理中央機構
検診マンモグラフィ読影認定医

【主な所属学会】

日本外科学会
日本乳癌学会
日本癌治療学会
日本臨床外科学会



演 者②

大分大学医学部
先端がん毛髪医療開発講座[アデランス] 准教授

河野 洋平 先生

▶ 最適な抗がん剤脱毛治療を探る

がん治療成績向上に伴い、がん経験者数も増加している。がん患者のサバイバーシップ支援が求められ、治療に伴う脱毛など外見変化に対する医療現場のサポートの重要性はますます高くなっている。高度脱毛の発症頻度が高い乳がん領域をはじめとして、抗がん剤治療による脱毛に苦しむ患者は多く、永続的な脱毛まで起こることもあるが、いまだ十分な予防・治療法はない。我々は酸化ストレスが関与する抗がん剤脱毛の病態に対する抗酸化物質αリポ酸誘導体の効果に注目し、研究を進めてきたので紹介する。

多機関共同研究による乳がん患者100名を対象とした臨床研究では、化学療法期間中にαリポ酸誘導体を頭皮に塗布し、脱毛後の回復を促進する結果を得た。リバーストランスレーショナル研究としてαリポ酸誘導体の効果について頭皮冷却療法との作用の相違点や併用効果の可能性など基礎研究にて検討し、シクロフォスファミド誘発脱毛モデルにおいて皮膚冷却法およびαリポ酸誘導体経皮投与は、抗がん剤による皮膚血管透過性亢進病態を抑制した。さらにαリポ酸誘導体は皮膚血管内皮細胞のアポトーシスを抑制した。産学連携開発により上市されたαリポ酸誘導体配合頭皮用ローションは消化器がん患者における回復期の毛質を改善する可能性も示している。

今後もさらに抗がん剤脱毛治療を中心とした研究の推進と、がん患者のQOL向上を目指した取り組みを継続する。

略 歴 等

【略歴】

2001年 3月 大分医科大学医学部 卒業

2001年 5月 大分医科大学外科第一（研修医）

2007年 5月 大分大学医学部 消化器・小児外科 医員

2012年 3月 大分大学医学部 博士課程 修了

2016年 4月 豊後大野市民病院 外科部長

2017年 - 2022年 6月 大分大学医学部 消化器・小児外科
高度救命救急センター 助教

2018年 - 2019年 8月 米国Weill Cornell Medicine
Visiting Fellow

2022年 7月 大分大学医学部

先端がん毛髪医療開発講座[アデランス] 准教授

【主な学会活動】

日本外科学会 専門医・指導医

日本消化器外科学会 専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会 専門医

日本内視鏡外科学会 技術認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

アデランスの研究開発▼



アデランスのCSR(2024)▼



Aderans